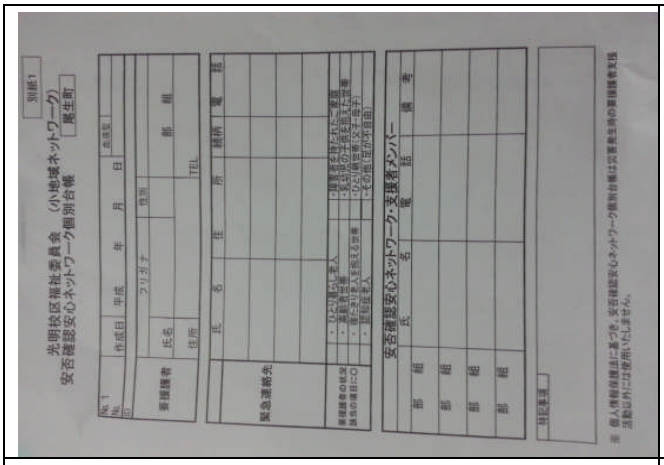
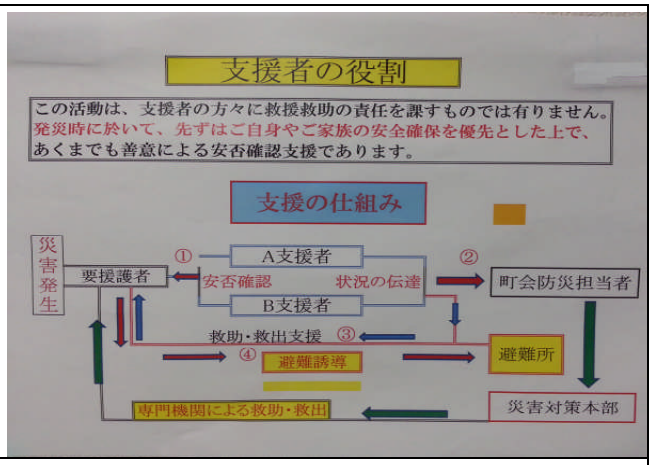
団体名	光明地区福祉委員会
活動テーマ	発災時要援護者支援活動





光明地区福祉委員会では平成１９年度より、災害発生時要援護者活動に取り組み、１人の要援護者に対し、お２人以上の近隣支援者をお願いし、個別台帳やマップ作成を進めて参りました。平時も、要援護者の中で見守りを希望される方には、月に１度の訪問活動を継続する中で、地域にあった支援のあり方や、発災時の対応について、検討を重ねてきました。

平成２７年度には何の資機材も無い中でしたが、地元の社会福祉協議会さんから車椅子等をお借りし、初めて安否確認・避難誘導訓練を実施しました。実際に訓練をする中で問題点やマニュアルの改善点も見えたくると同時に、要援護者、支援者をはじめ地域の皆様にもっと安心感を持ってもらえる様、この活動を見える化していく必要性を感じました。

平成２８年度には要援護者支援から避難行動要支援制度に移行され、岸和田市より日常からの情報提供に同意された今までの約２倍、１５０名の要支援者の方々のお顔が見えてきたタイミングで、今回の JR 西日本あんしん社会財団様から頂いた助成金で、校区内３０カ所の１次避難所に簡易テント、車椅子、簡易救急袋、ブルーシート、そして要支援者の皆様に非常用呼び子笛をお配りし、多くの地域住民の方々と２回目の訓練を実施させて頂けた事は、非常に有り難く、多くの皆様に活動の見える化だけではなく、災害に対し平時から意識をもってもらえる様になりました。

また２８年度は、この活動について岸和田市内３校区から講演の依頼も頂き、災害時市民助け合い講座のシンポジウムの登壇者にも選んで頂け、校区内だけではなく岸和田市に向けても広報・啓発活動が出来たと思います。

今後もこの活動を通し、向こう３軒両隣の繋がりを大切にできる、安心して暮らせる支え合いの街作りが円滑に進むよう、引き続き地域福祉の推進に努めて参ります。

本当に、ありがとうございました。